

2010年度

| | | | |
|---------------|---|-----|-------|
| 科目名 | 書道科教育法B | | |
| 担当教員 | 橋本 二三 | | |
| 配当 | 日文3 | コード | 53390 |
| 開期 | 後期 | 講時 | 金曜日3限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 模擬授業を通して、高等学校芸術科書道の現状と課題、その指導の実際を考える。 | | |
| 目的と概要 | 高等学校の現状と指導内容を把握し、教科教材の研究開発から実際に現場でしっかりとした授業が行えるように準備、展開できるようにする。 「書道科教育法B」にあたっては書道Ⅱ・書道Ⅲ(漢字、かな、漢字かな交じり他)を主として進める。また、いろいろな教材の可能性についての模索に取り組みたい。 積極的な意見交換が行われ、書道教育の新たな展開を図りたい。 | | |
| 成績評価法 | 平常点:20% 授業時の発言:40% 授業時のレポート:40% | | |
| テキスト | 文部科学省検定済教科書／高等学校芸術科用 『高校書道Ⅰ』『高校書道Ⅱ』『高校書道Ⅲ』／日本文教出版 | | |
| 参考書 | 参考書、推薦図書等は授業時に紹介する。 | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 模擬授業での適正な計画や準備などのため、相当量の家庭での学習と取り組みが必要になる。また、教育実習に向けての諸準備も怠らないようにしたい。 | | |
| 講義計画 | | | |
| 第1回 | 授業における興味づけの大切さと個性的な表現力の覚醒 | | |
| 第2回 | 漢字かな交じり文の展開について | | |
| 第3回 | 漢字かな交じり領域での模擬授業と授業研究 | | |
| 第4回 | 篆書領域での模擬授業と授業研究(1) | | |
| 第5回 | 篆書領域での模擬授業と授業研究(2) | | |
| 第6回 | 隸書領域での模擬授業と授業研究 | | |
| 第7回 | 草書領域での模擬授業と授業研究 | | |
| 第8回 | 行書領域での模擬授業と授業研究(1) | | |
| 第9回 | 行書領域での模擬授業と授業研究(2) | | |
| 第10回 | 楷書領域での模擬授業と授業研究 | | |
| 第11回 | かな領域での模擬授業と授業研究 臨書(1) | | |
| 第12回 | かな領域での模擬授業と授業研究 臨書(2) | | |
| 第13回 | かな領域での模擬授業と授業研究 創作 | | |
| 第14回 | 研究授業のまとめ | | |
| 第15回 | 書道教育の現状と未来のあるべき姿を考える | | |